

宗像市 文化芸術のまちづくり10年ビジョン

～新しい日常に向けて～

Revision for the new normal

令和4年3月

文化芸術のまちづくり10年ビジョン ～新しい日常に向けて～

改めて文化芸術を見つめなおし、活用し、新しい価値を創出して発展させるとともに継承することは、市民等相互の連帯感をつくり出し、共に生きる社会の礎となり、これにより
宗像市がずっと未来まで住みたい街であり続ける

■社会の現状

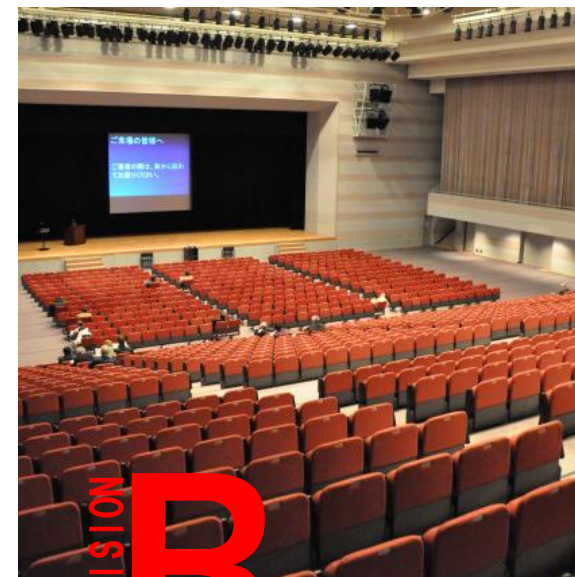
「多くの人を集めない」「密を避ける」「人の移動は最小限」・・・、コロナ禍において新しい日常への対応を求められる中、それでも人は文化芸術を必要としており、それを含めた上で社会はまわっていく必要がある

その中で文化芸術の計画はどうするか？

■計画の延長の方向性

「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」を継続し、前期(H23-27年度)につづく後期(H28-R2年度)を延長し、文化行政における様々な現状課題を踏まえながら、R6年度末までにおける文化芸術の推進の基本方針とする

文化芸術のまちづくり10年ビジョンは、新しい日常に向けて計画の補完を行う



REVISION **R** @宗像市

通称「リビジョン」

リビジョンによる振興ビジョン補完の方向性

リビジョンをつくるポイント

宗像市文化芸術の
まちづくり10年
ビジョン（後期）

現状に合わない施策
は見直し、それ以外
の施策は継続



リビジョン
（本書）

取組一覧

「コロナ禍における新しい日常への対応」、
「現行振興ビジョンより文化芸術の範囲を
広げる」等、次期振興ビジョンの策定及び
条例改正を視野に、様々な試みを行う

現行振興ビジョンにリビジョンを加えた上
で、市の事業や今後検討していく取組
みを一覧表にまとめる

リビジョン運用のスケジュール

令和3年度（リビジョン作成）から令和6年度末（次期振興ビジョン完成）までのスケジュール



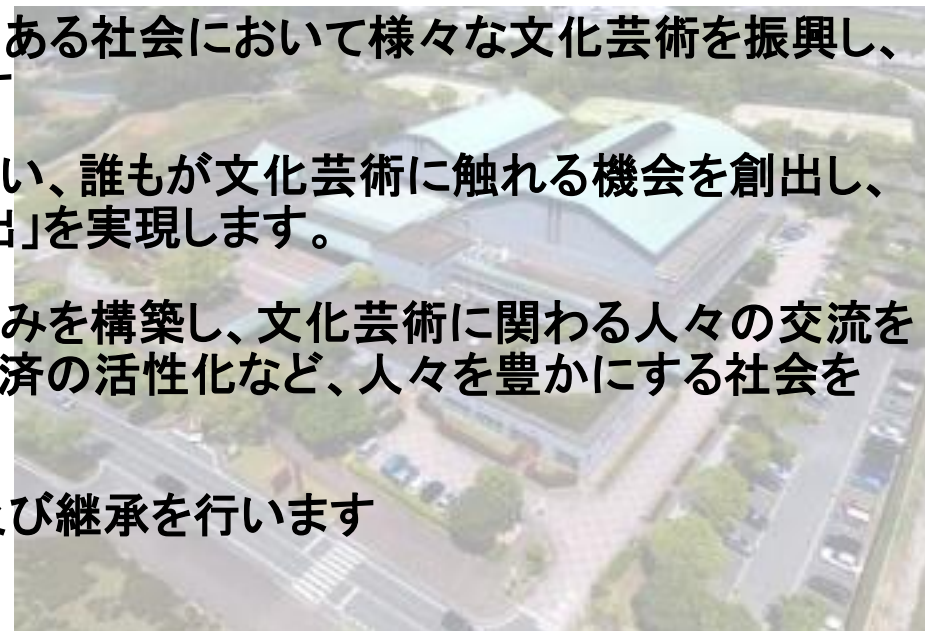
■リビジョンの理念 ～基本理念の再確認～

リビジョンでは、文化を「知性を養い、心を育むもの」とし、宗像市にすぐれた文化を築き、文化都市として発展し続けることを目標とします。

また、どのような社会状況下においても、文化を「人が人らしく生きていく上で必要な要素」「人々により社会が構成される上で必要な要素」と位置づけ、様々な取り組みを行いながら文化芸術の振興に努めます。

■文化行政の目標

- 文化芸術の範囲を広げ、多様性のある社会において様々な文化芸術を振興し、それに関わる人を支援し、育てます
- 文化芸術を活かしたまちづくりを行い、誰もが文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術による「まちの賑わい創出」を実現します。
- 文化芸術と社会を結び付ける仕組みを構築し、文化芸術に関わる人々の交流を広げ、新しい文化の創出や地域経済の活性化など、人々を豊かにする社会を実現します
- 伝統的な文化芸術の保存、活用及び継承を行います





1

市民が文化芸術を鑑賞・体験できる環境をつくる

- ①文化芸術を鑑賞できる環境づくり
- ②文化芸術を体験できる環境づくり
- ③文化芸術の出張事業(アウトリーチ)

2

文化芸術のつくり手の活動を支える

- ④文化芸術のつくり手の育成支援(発表できる環境づくり)
- ⑤文化芸術のつくり手の活動支援
- ⑥伝統的な文化芸術の継承

3

文化芸術を活用したまちづくりの推進

- ⑦文化芸術と社会を結ぶ活動の推進(アートマネジメントの推進)
- ⑧様々な分野における文化芸術の活用
- ⑨市の魅力となる文化芸術の発掘や創出

4

文化芸術に関する総合的な仕組みをつくる

- ⑩文化芸術に関する情報の活用と発信
- ⑪文化芸術の拠点づくり
- ⑫様々な団体との連携事業の推進

